

## 不安定な世界経済情勢において、ニジェール経済の先行きを保証

クリスティーヌ・ラガルド  
国際通貨基金専務理事

ニジェール議会での演説  
2011年12月21日 ニジェール、ニアメ

### 配布用

皆様こんにちは。本日、皆様と共にここにおりますことを光栄に思います。この美しく、広大な国に招待して下さったマハマドゥ・イスフ大統領に感謝いたします。そして、議員の皆様、本日ここで皆様に対して演説する機会を得ることができ、とても名誉なことだと思っています。

アフリカ、あるいはニジェールへの訪問は私にとって今回が初めてではありませんが、国際通貨基金（IMF）の専務理事としては初の訪問となります。私は、大国、小国、豊かな国、貧しい国を問わず、加盟国のニーズに対処するにあたり、IMFを可能な限り効率的な組織にすることに全力を尽くしています。そして、今回の訪問は皆様の視点に耳を傾け、今後IMFと皆様の国との連携を強化するための、私にとって重要な機会です。

残念ながら、私は最良の環境の下でここにいるわけではありません。現在はグローバル経済にとって厳しい時期です。

「我々は崩壊するものに心を奪われがちだが、希望や新たな成長の兆しにも心を留めるべきである」 [トゥアレグのことわざ]

リスクの暗雲が立ち込めているため、ニジェールやアフリカの他の国々はこうしたリスクを慎重に見極める必要があります。

したがって、本日は次に挙げる4つの事項についてお話しします。

- 第一に、世界の経済情勢。
- 第二に、アフリカへの影響。
- 第三に、ニジェールがこうした世界的なリスクを避け、新たなチャンスを活かすのに役立つ、今後の政策路線に関するいくつかの考え。
- そして、第四に、IMFはどのように支援が可能か、ということです。

## 1. 世界的な見通し及び政策

私がこれまで繰り返し述べてきたように、世界経済は危険な局面にあります。ここ数か月、成長見通しは大幅に下降し、しかも、さらに悪いことに深刻なダウンサイドリスクが存在します。

差し迫った脅威は、信認、金融市場の不安定性、そして持続不可能な政府債務の下方スパイラルであり、これらが一体となってさらに成長を弱めています。これ以外にも、失業率が容認し難いほど高水準に留まっている国が余りにも多いことが挙げられます。

ユーロ圏の先進国は危機の渦中にあります。そして、これらの国々は何らかの解決策の中心とならなければなりません。

しかし、我々は大局、すなわち、安定と成長、それも雇用を創出する成長を回復する必要性を見失ってはなりません。

先進国の政策では、成長と安定を促進するために、財政政策と金融政策の均衡を適切にとることが必要です。これは、競争力強化、景気の浮揚及び雇用促進に真正面から取り組む構造政策を推し進めること、そして、成長をさらに支援することが可能な、より安全で安定した金融セクターを確保するために、金融セクターの規制を強化することを意味します。

ジャン＝ポール・サルトルは「我々の責任は思っていた以上に重い、なぜなら人類全体を巻き込むからだ」と述べています。

行動を起こさなければ、信認危機は高まり、あらゆる国々、あらゆる地域が例外なく影響を受けます。

## 2. アフリカ地域への影響

一番目の問題は、二番目の問題を提起します。すなわち、こうした拡大する世界的なリスクはアフリカ地域にどのような影響を及ぼす可能性があるか？という問題です。

まず、過去 10 年間にわたるサブサハラ・アフリカ地域における発達を認めたいと思います。依然として残っている問題をないがしろにしようとするわけではありませんが、我々の討論の出発点はシフトしました、それも良い方向にです。

優れた経済政策により、力強い経済成長のための基盤が構築されました。過去10年間にアフリカ地域全体では平均56%以上成長し、そのおかげでアフリカに住む何百万人もの人々がひどい貧困から脱しました。

ただし、残念なことに2008年に食糧危機と燃料危機が発生した後に世界的な金融危機が続き、打撃を与えました。アフリカの経済成長率は低下し、社会的な影響は深刻でした。世界銀行は、サブサハラ・アフリカ地域の貧困率が2015年までに、この危機が生じなかった場合より2%高くなると予測しています。

それでも、状況はこれよりさらに悪くなっていた可能性があります。危機に見舞われた時、アフリカの多くの政治家は適切に対処しました。大半の国では、保健、教育、インフラに対する重要な歳出を維持することができました。そして、アフリカの多くの国々は急速に回復し、現在成長率は2000年代半ばの水準まで戻っています。

これは、アフリカの政治家の懸命な努力と取り組みの賜物です。危機が生じる何年も前に、財政赤字と公的債務を削減し、インフレ率を押し下げ、外貨準備高を高めました。手短かに言えば、マクロ経済的なバッファーを構築し、経済を本質的により強固にしました。このおかげで、危機に見舞われた際、大半の国々は重要な社会保障やインフラ関連の支出を維持することができました。

しかし、最近の先進国の危機に付随する影響により、アフリカの底堅さが再度試されています。

貿易と金融の関係は、好況時には経済の成長に不可欠ですが、皮肉にも、今日では相互に関連してエスカレートする経済リスクをもたらしています。

先進国において持続している景気減速は、引き続き金融市場の不安定性が続けば、アフリカの輸出需要を抑制します。また、民間資金の流れ、送金、そしておそらく援助も抑制される可能性があります。こうした見解はニジェールにとって望ましくありません。援助の流れは重要ですが、送金はリビアの動乱のため既に混乱しています。

商品市場の変動が極めて大きくなるとさらに混乱が生じ、アフリカ地域内に勝者と敗者が生まれる可能性があります。天然資源の重要性の高まりを考慮すると、こうした要因もニジェールにとって重要な監視ポイントとなります。

しかしながら、アフリカ地域の多数の国々に対する私の主な懸念は、さらなるショックを吸収する能力が3年前より劣っているということです。こうした状況は、今回世界的な景気低迷がさらに顕著になると、より大きな懸念の原因となります。

これは、一方では目先の世界的な景気後退のリスクに備え、また雇用と成長の促進を支援するインフラへの投資のための財源も保護しながら、道を踏み外さない政策が必要であることを意味します。

ただし、概して政治家は、前回の景気後退時に大いに役立った財政バッファの回復を重視する必要があります。

### 3. ニジェールの今後の政策路線

三番目の問題は、ニジェールにおける改革がこうしたリスクをどのように防ぎ、新たなチャンスを活かすのに役立つかということです。最初に明らかにしたいのは、私は政府の意欲的な開発計画に感銘を受けているということです。

石油や鉱山業への投資により、景気の先行きがさらに明るくなるチャンスが開けます。ただし、ニジェール経済の潜在力を十分に認識することは容易ではありません。

まず、拡大する世界的なリスクに対処しなければなりません。次に、天然資源から得られる富をうまく管理してきた国は比較的少数であるという厳しい現実があります。それでも、ニジェールは他国の経験から恩恵を得られるという有利な立場にあります。

さらに、ニジェール国内ではいくつかの困難な開発問題に直面しています。貧困は最も差し迫った問題です。人口の40%超が1日1.25ドル未満で生活しています。

ここ数か月間直面している深刻な食糧不足は、ニジェールが異常気象、特に干ばつと飢えの影響を受けやすいことを思い出させてくれます。一方、脆弱なインフラと高い事業コストは、農業や他の産業の発達を阻害しています。

こうしたニーズは大きいかもしれません。石油や鉱山から得られる収入が増加し、効果的に使用すれば、さらに広範囲にわたる包括的な成長、全ニジェール国民が恩恵を受ける成長が促進される可能性があります。

こうした目標を達成するための大まかな優先事項が3つあります。

第一に、天然資源から得られる収入の効果的かつ透明性の高い管理。

今年の初め、ニジェールが採取産業透明性イニシアティブの遵守国として認定されたのは画期的なことです。

天然資源はさらに重要な歳入源となるため、主要な目的は、可能な限りニジェールが影響を受けやすい変動する商品価格を相殺することです。

これには、歳出を平準化し、価格の上昇から得られる利益を有効に利用することを目標とした財政政策に中期的に取り組むことが求められます。

*「明日の乾きをいやすには、今日井戸を掘ることが重要である」 [トゥアレグのことわざ]*

準備しておくことの重要性は、いくら強調してもし過ぎということはありません。好景気の時に少し節約すれば、今後のショックから守るために大いに役立ちます。

*第二に、天然資源の収益を最大化する。*

これは、天然資源から得られる収入をインフラ、農業、保健及び教育への公共投資に効果的に振り向けることを意味します。投資は高い収益をもたらし、成長と雇用に必要です。

大事なことは、他の重要な公共投資のための余地を確保することです。さらに強力な社会のセーフティーネットの構築が特に重要です。危機の際は、最も影響を受けやすい部分を救うのに役立ちます。食糧危機を管理、防止する包括的支援システムである食糧危機の防止と管理のための国家機構はその優れた一例です。

しかし、私は、可能な限り最高な融資条件を獲得しようと努めながら、累積債務や負債水準を含めた公的債務の持続性の監視を怠らないようにすることを強く勧めます。

*第三に、幅広い開発戦略を進める。*

ニジェールの成長及び開発戦略は、天然資源や公共投資の開発だけに的を絞るべきではありません。事業環境を改善すれば、各種セクターでさらに雇用を創出する民間投資を誘致するのに役立ちます。

経済の多角化を推し進めることで、ニジェールがさらにうまくショックを切り抜ける取り組みが強化されます。これによりさらに包括的な成長をもたらしやすくなり、国民全体に対して機会と雇用が与えられます。私は、今朝ブルボンの市場で村人達と出会い、ニジェールの人々のあたたかさ、ホスピタリティ、活動力を直に体験しました。

ニジェール人は非常に素晴らしい人材です。したがって、私は2012-2015年新経済社会開発計画を開発するにあたり、さらにもっと包括的に実施することを政府に勧めます。

#### 4. IMF の役割

この問題は、四番目の問題と最終ポイントを提起します。すなわち、これは広範囲にわたる困難な検討課題であり、こうした取り組みを支援するためにIMFが存在するのです。ニジェールやアフリカのニーズに一層注意深く耳を傾けるIMFとのより深い対話が、IMFがニジェールに対してさらに効果的に支援を行うのに役立ちます。IMFが世界的なフォーラムでアフリカ地域の良き支持者となることに役立ちます。

私は、対話を深め、建設的な対話を行えるように取り組んでいます。

ここ数年間にIMFが学んだ重要な教訓は、成長を支援し、最も脆弱な部分を保護するための財政支援を効果的に実施するには、IMFの加盟国に速やかに到達し、優先度の高い支出のための十分な余地を残さなければいけないということです。

我々が譲許的融資能力を強化し、融資制度をさらに柔軟なものにしたのはそのためです。

また、我々は、アフリカ地域に政策と技術に関する助言を行いながら支援する取り組みを強化しています。IMFは技術的な専門知識、アフリカの国々が社会的及び経済的目標を達成するために役立つ専門知識を有しています。たとえば、予算の執行と管理、租税政策及び天然資源プロジェクトの分析に関する重要な技術助言を行うにあたり、引き続きニジェールと密接に協力していきます。我々は、IMFの地域技術支援センターを通じて、国家間で専門知識の共有を推進する重要な役割を果たすことが可能です。

#### 結論

ニジェールは重要な岐路に立っています。今後の政策路線は容易ではありません。のるかそるかの状態ですが、今日の世界的なリスクによりそうなっただけです。ただし、方向を転じ、全ニジェール国民のために新たな未来を描くためのチャンスは大きく広がっています。

*「現在は単に可能性を秘めた過去ではなく、むしろ選択し、行動を行う時期である」  
(シモーヌ・ド・ボーヴォワール)*

しかし、ニジェールは孤独ではありません。我々は皆自分の役割を果たさなければなりません。

IMF及び国際社会のその他の機関はさらに多くのことを実行するための準備を行わなければなりません。我々は皆様の友人であり、パートナーです。我々は皆様の意

見に耳を傾け、より繁栄する未来のため、及び全ニジェール国民に対して利益を持続するための進路を示す支援を行うためにここにいます。

ご清聴ありがとうございました。

[Word count: 1845, excluding titles]